

私らしく あなたらしく



「パパと楽しむふれあい遊び」赤城児童センター

男女共同参画標語

金賞 住む男女（ひと）がキラッと輝く森の街 井上 洋子

銀賞 あなたらしく私らしくともに生きる街流山 鶴見 喜代美

銅賞 双葉より育てる男女平等社会 小川 敏子

（関連記事 4面）

〈特集 訪問レポート〉

親子のふれあい お父さんの子育て

「パパと楽しむふれあい遊び」 （2面）

親子の絆って何だろう？ 赤城児童センターで行われた講座に学ぶ

女性のエンパワーメント「伝統文化に生きる女性たち」(3面)

地域に生きる文化のコミュニケーション 流山市茶道親和会

心が奏でる箏（こと）の調べ、仲間との出会いが私を支える 邦楽奏者 金子さやか

親子のふれあい

お父さんの子育て 「パパと楽しむふれあい遊び」

昨年12月赤城児童センターで開催された男女共同参画社会づくり講座、「パパと楽しむふれあい遊び」が開催されました。当日は0歳から3歳までの乳幼児とそのお父さんなど、25組が参加し親子の「ふれあい遊び」を楽しみました。(編集委員 金井・多々良)

親子でたくさん遊んだ後に講師の頭金先生に伺いました。

金井：若いお父さんやお母さんにアドバイスをお願いします。

頭金：子育てはみんなでやれば、より楽しい。どこの子供も大人たちがみんなで見守ってあげたいですね。

最近、おんぶが見直されてきました。お父さん、お母さんの温もりや心臓の音を直接肌で感じ、安らぎを与えます。オムツの取替えも子どもに語りかけながら替えてあげるなど、ちょっとした工夫で子どもとのふれあい遊びが楽しめます。

金井：親子の絆ってそんなところから芽生えるのでしょうか。ありがとうございました。



講師の頭金 多絵 先生
(白梅学園短期大学非常勤講師、元墨田区保育士)



鈴木さんご家族(中央)

参加者の声

2歳半と10ヶ月の二人の男児の父親である鈴木さんは家族みんなで参加しました。

多々良：普段の子育てと「ふれあい遊び」に参加した感想をお聞かせください。

鈴木：いつもは家でお風呂に入れたりして子どもと遊んでいます。今日は家と違い大勢で遊べたので楽しかったです。疲れましたがもう少し遊びたいと思いました。

多々良：大勢で遊ぶっていいですね。お疲れさまでした。

《子育て情報》

平成18年4月以降に各児童館・児童センターで親子を対象に開催する主なイベントです。

(参加方法等詳細は、広報ながれやま4/15号の流山市まなびガイドに掲載)

事業名称	内容	開催日時
「幼児グループ」	親子でよりよい仲間づくりを目指し、生き生きとした活動を幼児グループを通して体験し、学びあう。	毎週火・木・金曜日 10:00~11:30
「にこにこサロン」	就学前の子と親を対象に、子ども同士のふれあいを通して遊ぶ楽しさを知ったり、親にとっては、活動を通し地域の中での子育てを学びあう。	月2回(火・水・金曜日) 10:15~11:15
「親子体操」	乳幼児と親を対象に、スキンシップ体操を通して親子関係を深め、親のシェイプアップも図る。	年3回
「わらべうたで遊ぼう」	乳児と親を対象に、わらべうたを通して遊ぶ楽しさを知り、親子関係を深める。	年3回

女性のエンパワーメント 「伝統文化に生きる女性たち」

昨年11月、男女共同参画コミュニティ講演会で紹介された「女性のエンパワーメント」の実践者のお話を伺いに会場の文化会館を訪ねました。

(編集委員 井上)

日本古来の伝統文化「茶道」に携わる流山市茶道親和会の会長有賀匡世先生にお話を伺いました。

井上：茶道を始めて何年くらいですか？

有賀：子どもの頃から茶道が身近にありましたが、本格的にお稽古を始めたのは、10代の後半です。



流山市茶道親和会の皆さん



井上：茶道が自分に与えた影響とは？

有賀：茶道は形式的で固苦しいイメージですが、大切なのはおもてなしの心です。茶道を通じてお仲間と知り合い、研鑽に励み、苦楽を共にして参りました。お客様の自宅に招かれてお茶をたてる機会がありましたが、家族が一堂に集い、「こんなに家族が近づいたことはなかった」と喜ばれました。このように、茶道を通じてのふれあいが私に良い人間関係を与えてくれました。

井上：おもてなしの心が人間関係を豊かにする。茶道は大変奥が深いですね。ありがとうございました。



次に箏曲演奏の金子さやかさんの楽屋を訪れました。

井上：邦楽との出会いはいつごろですか？

金子：幼い頃はピアノを、10歳頃からお琴を始めました。舞台が好きで演劇部にも所属していました。

井上：邦楽は、金子さんにとってどのようなものですか？

金子：音楽は、自分の心を音にかけて表現できるところが魅力です。舞台に立つことで緊張感と開放感を味わ

い、邦楽を通して、礼儀や集中力を養い、ひいては人格形成もできます。大学の同期生は仲間でありライバルです。仲間の励ましや、いろいろな人と出会い刺激を受けたり、誉めていただいたりするとうれしくて、邦楽を続けていて本当に良かったと思います。

井上：一つのことを長く続けるのは本当に大変なことですが、いざというとき助けてくれる仲間がいるって本当にすてきなことです。

本日はありがとうございました。



生田流箏三弦奏者 金子さやかさん(右)



男女共同参画標語 (入選作品は表紙に掲載しています。)

男女共同参画社会の実現に向けて流山市では男女共同参画標語を策定しました。入選作品は、広告塔などに掲載されているほか、応募のあった作品は、講座や研修会の会場で展示され、市民の皆さんに紹介しております。



市役所前の広告塔



講演会での展示風景

《男女共同参画室インフォメーション》

ジェンダーについて

ジェンダーとは、「社会的につくられた性別」の意味です。男女共同参画社会は、性差を否定したり、男らしさ、女らしさや男女の区別をなくして人間の中性化を目指したり、家族やひな祭り等の伝統文化を否定することではありません。

流山市男女共同参画プランでは、誤解や曲解のないよう「ジェンダー」を「社会的性別」と定義し、その視点をもった一連の施策を「男女の性差にとらわれない男女平等」等のわかりやすい表現に改めます。

男女共同参画社会
五つの基本理念

男女の人権の尊重

社会制度、慣行の自由な選択
あらゆる政策、方針への共同参画
家庭と他の活動の両立
国際的協調

講座ご案内

男女共同参画社会づくり講座(情報紙づくりに向けて)

各種講座に参加して一緒に男女共同参画社会づくり情報紙を作ってみませんか。詳しくは、男女共同参画室まで。 04-7150-6064

編集後記

子育て支援、女性の活躍などが今回のテーマでしたが、男女共同参画社会の目指すものは、幅広く、奥深いものですね。
・金井・多々良・井上・高橋・小川

この情報紙は「男女共同参画社会づくり講座」の受講生が企画・編集しました。ご意見、ご感想をお待ちしています。

発行：流山市企画部企画政策課男女共同参画室

〒270-0192 流山市平和台1-1-1

04-7150-6064 FAX 04-7150-0111

e-mail: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

http://www.city.nagareyama.chiba.jp/

情報紙は町会、自治会のご協力で世帯に回覧していますが公民館をはじめ市の施設でも配布しています。